

3 交通のうつりかわり

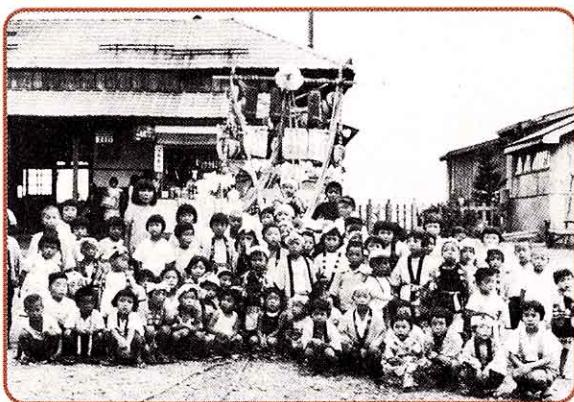
沼尻鉄道 1913年(大正2年)に、沼尻日本硫黄鉱山でさいくつしたものをおとすために、沼尻から川桁までの間に沼尻鉄道(磐梯急行電鉄)がしかれました。その後55年間、硫黄の運ばんばかりでなく、観光客や通きん通学の足としても活やくしました。



しかし、時代がかわり、沼尻鉄道が閉山され、1969年(昭和44年)に鉄道も廃止されました。

○ 当時の沼尻鉄道

磐越西線 わたしたちの町に鉄道が開通したのは、1899年(明治32年)です。そのころは、岩越鉄道といっていました。その後、国の鉄道となり、1917年(大正6年)に磐越西線と名前がかわりました。



○ 当時の猪苗代駅

磐越西線のうつりかわり

- | | |
|-------|----------------------------|
| 1899年 | 岩越鉄道株式会社によって、郡山～若松間が運転開始。 |
| 1906年 | 鉄道国有法が公布され、国有鉄道となる。 |
| 1914年 | 郡山～新津間が磐越西線となる。 |
| 1967年 | 郡山～喜多方間の電化完成にともない電車化。 |
| 1974年 | 蒸気機関車が廃止される。 |
| 1987年 | 国鉄がなくなり、JR東日本旅客鉄道株式会社ができる。 |

鉄道がしかれて、交通がべんりになると、人や物の行き来がきかんになりました。近ごろは、自動車がふえて、鉄道を利用する人の数は以前よりへっています。しかし、今でも観光や通きん通学など、わたしたちの暮らしにとって、鉄道は大切な乗り物になっています。